

世田谷・生活者ネットワーク



区議会議員
高岡じゅん子



区議会議員
田中みち子



三軒茶屋周辺で防災まち歩き

生活者ネットワークは、避難所トイレ問題など女性の視点を取り入れた災害対策を世田谷区の地域防災に根付かせるために活動してきました。8月30日には、世田谷区災害ボランティアセンターの女性防災士を講師に、実践的な災害への備えについての講座を開催。回転蓄などについて学びました。

4月三軒茶屋駅周辺、10月千歳烏山駅周辺で、安全な避難のための防災まち歩き点検を行い、危険な建物やブロック塀の問題、ゲリラ豪雨などに対応した避難路の確保について実態把握を行っています。

東大府地震直後の6月区議会でブロック塀の危険性を訴え、9月の補正予算でブロック塀撤去の緊急補助金新設という成果を得ることができました。

7月には、堅十萌子弁護士を講師に憲法カフェ、8月にはドキュメンタリー映画「不思議なクニの憲法」上映会を実施、10月には平和運動を行う区内の諸団体と共に雑居まつりに参加しました。これからは憲法改悪を阻止するため、草の根の平和活動を続けます。

今この憲法は、敗戦直後の73年前「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないように」制定されたものです。3年前、「平和安全法制関連2法」が成立し、自衛隊が米軍と共に日本から遠く離れた地域へ武器を取って派遣されるようになり、改憲にすむことは許されないと、世田谷・生活者ネットワークは毎月定例の街宣で訴え続けています。

草の根の平和活動



雑居まつりで平和のアピール

東京都では社会的養護が必要とされる乳児は乳児院に預けられます。愛着形成を築くうえで大切な乳児期にこうした措置を行うことは、問題があることが指摘されています。また、性暴力や子どませぬ妊娠により、明らかに実母による養育が困難な場合に対応できる、新たな支援体制を構築しなければなりません。

そこで、元愛知児童相談所・児童福祉司 矢満田篤二さんをお迎えして、社会的養護に関する先進事例の「愛知方式」について、保坂区長や担当所管と共に学ぶ会を開催しました。出席前から寄り添う特別養子縁組制度、赤ちゃん縁組を取り入れることが

高齢になっても長く住み続けてきた街で暮らしたい、そんな思いで「住み開き」をする方が増えています。千歳烏山駅近くで、自宅を開放して、子育て支援の「親子ひろば」や「お茶の会」、また、「くるくるバザー」の開催などの活動を長年やってきた女性が、この秋、ワーカーズを立ち上げ、まちなかの「わいの家」をオープンしました。

「赤ちゃん縁組」特別養子縁組制度

特別養子縁組の学習会で



重要だと認識しました。世田谷区は2年後の児童相談所移管に向けて準備を進めています。生活者ネットワークはこうした児童相談所の取り組みを、ぜひ課題にも積極的に意見をを出していきます。

女性の視点で防災対策を

豊かな市民活動が安心のまちをつくる ～支えあい分ちあう地域共生社会へ～

高齢者の「住み開き」で安心の地域づくり



2019年統一選挙にむけて 基本政策と第1次予定候補者発表!



東京・生活者ネットワークは、10月27日(土)来年の統一地方選挙にむけて、「2019政策発表集会 いのち輝け!女性の手で」を開催しました。

この集会では、皆川真澄美さん(中央学院大学准教授)が基調講演を行いました。皆川さんは、東京・生活者ネットワークのジェンダー平等プロジェクトのアドバイザーでもあり、性による違い、多様性への配慮は、国際常識であることを歴史的背景から提起されていました。

DV防止法、女性活躍推進法など男女平等促進のための法整備は進みましたが、いずれも実行性は弱く、家事、育児や介護に加えて仕事も、日本の女性の負担は増すばかりです。生活時間をとりもどし、仕事中心の働き方から生活時間を重視する働き方への転換をすすめる政策を実現するため、東京・生活者ネットワークでは、33人の第1次予定候補者を発表しました。



世田谷・生活者ネットワークでは、2019年統一地方選挙予定候補者として、高岡じゅん子(現在2期目)、田中みち子(現在1期目)を公認候補として擁立しました。

統一地方選挙に向けての政策は、東京・生活者ネットワークの基本政策を基に、世田谷の特色をいかした「せたがや政策」を市民の皆さんとともに作ります。



2期目
高岡じゅん子



1期目
田中みち子

せたがや政策 発表集会

12月15日(土)午後2時～4時

@世田谷産業プラザ3階 大会議室
世田谷区太子堂2-16-7
(三軒茶屋分庁舎・三茶しやれなあどー三軒茶屋駅徒歩2分)
『介護をひとりしにしない!介護相談のプロに聞く』
ゲストスピーカー:中村寿美子さん(介護コンサルタント)
「親の介護が必要になったときにやるべきこと」他、著作多数

あなたも会員になりませんか?

生活者ネットワークは、都議会や区議会の詳しい報告を受けるサポーター会員から生活者ネットワークの運営に参加する正会員まで、参加の仕方はいろいろあります。活動は、環境(ゴミ・みどりや生き物調査)、福祉(子育てや介護)、平和(憲法)など部会を中心に調査活動や学習会も行っています。私達の身近な問題を解決するために、あなたも一緒に考えてみませんか?

サポーター会員 1,000円/年 正会員 5,800円/年
賛助会員 10,000円/年

カンパをお願いします

生活者ネットワークの活動は、カンパとボランティアで支えられています。カンパ(は、1001,000円からいくらでもいつでもOKです。どうぞよろしく願いいたします。

【ゆうちょ銀行】
世田谷・生活者ネットワーク
記号)00110-1-765709
店名)108 普)0765709

【編集・発行】2018年11月15日号
世田谷・生活者ネットワーク代表/山木きょう子
〒154-0017
東京都世田谷区世田谷1-16-16 安藤ビル301
TEL: 03-3420-0737 FAX: 03-3706-1744
email: setagaya@seikatsusha.net
http://setagaya.seikatsusha.me



郵便はがき
〒154-8790
340

世田谷区世田谷1-16-16
安藤ビル301

世田谷・生活者ネットワーク行

フリガナ	性別	年代
あなたのお名前		
お住いの地域/ 世田谷・北沢・玉川・砧・烏山		
ご住所		
TEL		

●このようなレポートをお送りできる方をご紹介します。

フリガナ
お名前
お住いの地域/ 世田谷・北沢・玉川・砧・烏山
ご住所
TEL

区議会報告 第3回定例区議会

2018年9月18日〜10月19日まで、第3回定例区議会が行われました。この間、平成29年度決算を審議する特別委員会が開かれ、一般会計などすべてが認定されました。



区議会議員 田中みち子

- 砧一丁目在住
- 生活者ネットワーク
- 世田谷区議団幹事長
- 区民生活常任委員会
- 災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会
- パーソナルカラーリスト



会派で長野のソーラーシェアリングを視察

一般質問

新築住宅の省エネルギー化を！

環境に負荷をかけないようゼロエネルギー住宅（ZEH）が注目されています。
この夏、会派で視察した長野県では、初期投資とランニングコスト

を考慮して、省エネルギー性能や自然エネルギー導入の検討が業者に義務付けられ、新築住宅の省エネルギー化が進みました。

一方、世田谷区は、エネルギー消費量削減や区民の再生可能エネルギー利用率を高めるために、家庭における太陽ソーラーシステムや太陽熱温水器設置、断熱改修などを行う際の補助制度「環境配慮型住宅リノベーション推進事業」がありますが、新築住宅には適応されていません。
住宅都市である世田谷は、省エ

決算特別委員会

プラスチックごみゼロへ

プラスチックごみによる海洋汚染問題が大きく取り上げられ、ストローやプラスチック容器の使用や生産を禁止するなど、世界では使い捨てプラスチックごみ発生抑制に大きく舵を切っています。

しかし世田谷区では多くの廃プラスチックが、未だに分別されることなく、焼却されています。今こそ、使い捨てプラスチックごみの発生抑制に向け、まずは、庁舎内の会議体でペットボトル配布を止めること、区民と事業者に



はたらかせ、レジ袋有料化に取り組むこと、容器包装リサイクル法に基づく廃プラスチックの分別資源回収を行うこと、などを実行すべきです。

ひとり親家庭への居住支援を

区は、住宅セーフティネット制度を活用し、ひとり親世帯への居住支援を始めましたが、いまだ実績がありません。制度面の課題が多く、国や都に改善要望を行っていますが、事進は変わりません。区の調査結果からも、ひとり親家庭においては約半数の世帯が家計を圧迫している支出として居住費をあげています。要件の拡充を行うなど区の積極的な支援体制、福祉所管との連携関係者団体への働きかけなどを早急に進めるべきです。

突風や豪雨、安全な道の確保を

台風24号の翌朝、通学路上にトタン屋根が吹き飛んで放置されている現場を見ました。区民・子ども達の安全確保のために、より迅速的確な情報提供と児童生徒への安全教育を求めました。
切れた電線や飛来物の危険などについて、児童生徒に危険回避教育を徹底するとの回答を得ました。



台風被害で吹き飛んだ屋根

祖師谷大蔵駅前広場を環境に配慮した持続可能な広場に

祖師谷大蔵駅北側の駅前広場は今年7月に整備計画が策定されました。今年の夏は猛暑が続く、アスファルトの増加などヒートアイランド現象による地球温暖化も、自然環境を破壊し、経済社会にも大きな影響を及ぼしています。
コンクリートから自然環境の幅広い機能を有効に活用し、環境を守り街の魅力を高める社会基盤へと変えていく必要があります。

そこで、今後の基本設計、詳細設計などの整備は、グリーンインフラの観点で行うことを求めました。



祖師谷大蔵駅前広場

障がい者の雇用確保を求める！

世田谷区において、障がい者雇用率の報告に、水増しと思われる誤りがあったことは、とても遺憾です。役所は、区内事業者の機軸とならなければなりません。障がい者の雇用機会確保法に則した採用を拡大し、民間に求めた以上の雇用数と働きやすい職場環境の整備を速やかに進める必要があります。

区は、平成29年6月1日現在の障害者雇用率の再点検の作業を庁内全体で進めており、この結果も踏まえ、今後の障害者雇用の取組を進めていくと答弁がありました。



特別支援学校の作品展で

ました。まずは、正規職員の障害者採用について、特別区人事委員会の統一的な採用選考が、今年度からは身体障がい者に加え、知的障がい者、精神障がい者も対象となり、この統一選考による採用予定者を拡大していくことになっていきます。今後も障がい者の雇用確保と労働環境の整備を注視していきます。

区議会議員 高岡じゅん子



- 羽根木一丁目在住
- 生活者ネットワーク
- 世田谷区議団政調会長
- 福祉保健常任委員会
- オリジナル・パラリンピック環境対策等特別委員会
- 環境カウンセラー

中学校の特別支援教室の導入について

中学校の特別支援教室については、東京都のガイドラインを踏まえ、小学校に引き続き、区は平成31年度から導入します。小学校同様、特別支援教室導入後は、他校に通う必要がなくなります。指導が可能になります。

この4月には、教室環境の整備や指導・支援体制の構築や運営に関する様々な課題について話し合うため区立中学校校長や情緒障

インクルーシブ教育？

【アンケート】

① 今回の「生活者せたがや」記事の中で、一番関心があるものに○をつけて下さい。

- ・防災まち歩き
- ・特別養子縁組
- ・住み開き
- ・憲法
- ・障害者雇用
- ・省エネ対策
- ・プラスチックごみ
- ・ひとり親居住支援
- ・通学路の安全
- ・グリーンインフラ

② 世田谷区政において重点的に取り組んで欲しい事についてお書き下さい。

※ 横書きで記入してください